

令和3年度第2回浜松市地域公共交通会議

会議録

1 開催日時 令和3年10月28日（木） 午後1時30分から午後2時15分まで

2 開催場所 浜松市役所 本館8階 全員協議会室

3 出席状況

会長

松本 幸正（名城大学名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科）

委員

仲野 弘己（静岡県交通基盤部都市局地域交通課長）

代理 浦田 芳孝

諸井 宏司（遠州鉄道株式会社運輸事業部長）

伊藤 尚吾（浜松市タクシー協会会長）

堀内 哲郎（一般社団法人静岡県バス協会専務理事）

大西 優二（静岡県タクシー協会浜名湖北遠支部長）

代理 大石 勝也

田口 博（南区自治会連合会長）

加茂 哲夫（北区自治会連合会長）

松下 敏昭（浜北区自治会連合会長）

三室 正夫（天竜区自治会連合会長）

杉山 きよ子（浜松いきいきネットワーク代表）

代理 夏目 雅子

江間 綾子（中部運輸局静岡運輸支局首席運輸企画専門官）

大見 芳（特定非営利活動法人がんばらまいか佐久間）

高須 博幸（浜松市土木部長）

小澤 達也（浜松中央警察署規制係長）

三室 雅仁（浜松東警察署規制係長）

加藤 篤（浜松西警察署規制係長）

代理 萩田 誠吾

伊藤 康志（浜北警察署規制係長）

武田 道成（天竜警察署規制係長）

代理 鈴木 徹也

前嶋 克律（細江警察署規制係長）

事務局

刑部 晶彦（交通政策課長）
竹村 雅彦（交通政策課長補佐）
中川 政行（交通政策課交通計画グループ長）
井口 哲（交通政策課交通計画グループ）
齋藤 雅大（交通政策課交通計画グループ）
牧野 嘉文（交通政策課交通計画グループ）
堤 信弘（北区まちづくり推進課長）
青木 久実（北区まちづくり推進課環境交通グループ長）
鳥居 秀嗣（北区まちづくり推進課環境交通グループ）
齋藤 慎悟（天竜区まちづくり推進課計画交通グループ長）
古川 成規（天竜区まちづくり推進課計画交通グループ）

4 傍聴者 3人

5 議事内容

[協議事項]

(1) 事業用自動車の併用について（秋葉バスサービス）

[報告事項]

(1) にこここバスの停留所名変更について（浜松市）
(2) 鉄道事業の旅客運賃改定申請について（遠州鉄道）

6 会議録作成者 交通政策課交通計画グループ 牧野 嘉文

7 記録の方法 発言者の要点記録

8 会議記録

1 開会

・本日の出席は全委員 22 人中 20 人の出席であり、要綱第 9 条第 2 項の規定により過半数を満たしているので本会議が成立することを報告。

（出席者 20 人中 代理出席 5 人、欠席 2 人）

2 会長挨拶

・名古屋駅や新幹線は人が戻ってきて、タクシーの利用者が多くなったと感じる。
・安全な公共交通を保ちながら安心して利用できる環境を作っていきたい。

3 議事

〔協議事項〕

(1) 事業用自動車の併用について

制度概要

【秋葉バスサービス】

- ・森や袋井中心に浜松市では春野町で、春野高校生徒を中心に8往復運行している。
- ・乗合バス5路線以外に貸切バス事業を行っている。貸切はイベントでのピストン輸送など路線バスと同型で実施している。
- ・貸切は土日を中心に極めて少ない件数でやっていたが、コロナ禍でほぼゼロになった。貸切を継続するにあたり最低5両必要だが、貸切事業の目途がつかないので、乗合事業で使っていきたい。そこで乗合と貸切の併用登録として改めたい。法改正により併用が地域公共交通会議で可能になることから各市町の会議で承認をもらっている。

●質疑応答

【松本会長】

- ・乗合は降車ボタンや運賃箱はどうしているか。

【秋葉バスサービス】

- ・元々乗合仕様であり、これまでも流用で車両をしており、ワンマン機器は搭載されているので支障はない。

【松本会長】

- ・利用の幅が広がり稼働率が上がることは事業者にとっては良いことである。

●協議

結果	<ul style="list-style-type: none">・全会一致で了承された。・「協議の調ったことを証する書類」を交付する。
-----------	--

〔報告事項〕

(1) にこにこバスの停留所名変更について

【北区まちづくり推進課】

- ・変更時期は10月1日。
- ・元のバス停名である都田交番の北側に市民音楽ホールが建設され本年6月から稼働している。ネーミングライツでサーラ音楽ホールとなったことで、遠鉄バスの名称が変更されたことを受け、にこにこバスもバス停名を変更した。

●質疑応答

【松本会長】

- ・交番はまだあるのか。バス停にネーミングライツは考えていないのか。

【北区まちづくり推進課】

- ・交番はまだある。ネーミングライツは今の所考えていない。

【土木部長】

- ・変更に関する周知はどのように図っているか。広報に載せないのか。

【北区まちづくり推進課】

- ・沿線町内会は自治会の回覧板を通じて周知している。広報には載せていない。

【松本会長】

- ・市民が音楽ホールに行くことはあるか。バス停を探す時にこの名前で探すか。

【北区まちづくり推進課】

- ・遠鉄バスも走っており、多くの方に利用してもらいたい。目的があればこの名称で検索する。

(2) 鉄道事業の旅客運賃改定申請について

【遠州鉄道】

- ・9月29日に中部運輸局へ改定の認可申請を提出した。認可申請をした段階で公表をするのでプレスして翌日新聞へ掲載された。認可が下りた段階で広く周知をしていく流れ。
- ・高架化実現以降利用者は増加しており、運賃を据え置き、消費税改定のみ上げてきたが、39年ぶりに運賃を値上げする。
- ・今年度から八幡駅で大規模バリアフリー工事と耐震補強工事を開始予定。今後もバリアフリー工事の継続や高架化区間の耐震補強があり投資が今後必要だが、コロナ禍による急速な需要の減少により値上げする。コロナが終息してもテレワーク化等によりコロナ禍以前の回復は厳しいので、利用者にはご理解を得たい。
- ・改定日は2022年2月1日で改定内容は初乗り運賃を120円から140円にする。
- ・現行160円～240円区間は一律10円上げる。
- ・280円以降の区間は値上げの対象外。
- ・前回消費税の運賃値上げで280円以降の区間のみ改定している。前回上がった方は今回上がらないように負担軽減を図っている。
- ・初乗り運賃について近隣私鉄より安価に設定している。
- ・定期券についても値上がり分を反映している。

●質疑応答

【伊藤委員】

- ・支払い手段について現金とナイスパスで金額は同じなのか。

【遠州鉄道】

- ・システム上、円単位の対応ができないため、同じ金額。

【松下委員】

- ・浜北駅と新浜松駅間の距離を知りたい。

【遠州鉄道】

- ・現行は350円で運賃は変わらない。12キロ以上ではある。

【松本会長】

- ・上限認可運賃とは何か。

【遠州鉄道】

- ・鉄道認可申請値上げしたい場合に最大 50 円の申請を出し、50 円上げて良いと認可が下りても、最終的に届け出る時は 30 円値上げすることが可能。ただ現状は申請した額で改定しているので、上限で出した金額が値上げ額となっている。

【松本会長】

- ・割引運賃や企画切符では上限を下回った運賃を運輸局に届け出なくても設定できるのか。

【遠州鉄道】

- ・企画乗車券は別途届出。

【松本会長】

- ・儲かり過ぎたら事業者の判断で値下げできるのか。

【遠州鉄道】

- ・上限を下回っていれば届出で可能。

【田口委員】

- ・バスは値上げしないのか。

【遠州鉄道】

- ・今回は値上げしない。事業の特性上、鉄道は区間変更など難しいが、バスは区間や便数を変更して対応が可能であるので、そのようにしていく。

【松本会長】

- ・コロナの第 6 波第 7 波次第にはなるかと思う。
- ・遠鉄の運賃は安い。名古屋は地下鉄等整備が遅かったのが高い。
- ・名古屋は敬老パスがある。シルバー定期の宣伝も必要。愛知県は名鉄バスの敬老パスに補助を出している。

【松本会長】

- ・皆様にお願ひがある。地域公共交通会議は地域にとって相応しい公共交通をつくりあげていく場である。せっかく集まっていたので有益な場にしたい。今回のように議題が少ない場合に地域の課題など意見交換したい。自治会連合会長には地域の声を紹介してほしい。意見交換しながら良い公共交通をつくっていききたい。警察には免許返納や交通事故の実態など報告してほしいので協力願ひたい。

【江間委員】

- ・日本版 MaaS 推進支援事業について 12 事業を選定した。その中に静岡市のしずてつが中心となっている静岡 MaaS がある。MaaS は地域ニーズに対応した複数の公共交通を最適に組み合わせて検索予約決済を一括で行う。観光や交通だけでなく医療は福祉も含まれている。
- ・MaaS 支援事業は令和元年度から続いていて、佐久間地域での実験を昨年度採択した。
- ・今年度選定した静岡型 MaaS 事業実証実験では中山間地部での交通運行実験と市街地

部での静鉄電車沿線の活性化や混雑平準化のクーポン配布実験を実施予定。方向性は実験結果を踏まえながら新たな移動サービス構築に向けて、3年間実証実験を行い来年度から実走を行う予定。

- ・地域公共交通シンポジウム in 中部を11月12日にオンラインで行う。

4 その他

ーなしー

5 閉会